

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業						短縮コード	経常	4124	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市高齢者短期人間ドック助成事業実施要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
後期高齢者医療被保険者が、短期人間ドックを受診する際にかかる費用の一部を助成することで、健康保持増進を図るもの。 平成２０年４月１日から後期高齢者医療制度が開始され、国民健康保険に加入して短期人間ドックの助成を受けていた被保険者が、国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行すると助成が受けられなくなるという状況を防ぐ必要があった。また、制度の新設に際して、幅広く後期高齢者の健康保持増進を図るため、国民健康保険に加入していたか否かを問わない制度とした。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
短期人間ドックによることで、後期高齢者医療健康診査と、市民に対するガン等の検診を同時に行えるものだが、一般の検診との費用の整合性 を図る必要があったため、平成２１年度より助成額等の一部変更を行った。					大項目（節）	01	保健・医療						
					中 項 目	01	保健						
					小項目（施策）	02	疾病対策の推進						
					細 項 目	01	生活習慣病対策						
				実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	短期人間ドックの受診を希望する後期高齢者医療被保険者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 短期人間ドックの受診を希望する後期高齢者医療被保険者に対して、費用の一部（本人負担３割、後期高齢者医療の基本検査分を含み助成対象上限４２，０００円。）を助成した。							
	※平成23年度に計画していること： 前年度と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	後期高齢者が短期人間ドックを受診する際の費用を一部助成することにより、被保険者の健康の保持増進を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	後期高齢者被保険者数	人	13, 639	14, 413	15, 225	16, 995	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	助成対象額	円	4, 795, 667	3, 094, 000	2, 198, 672	3, 102, 000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	利用者数	人	97	130	105	130	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業			所属名	長寿支援課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	20	3, 094		3, 100	
		その他	千円	2, 061		2, 199		
	主な事業費の内訳			扶助費 2, 061千円 消耗品 20千円	扶助費 3, 061千円 消耗品 33千円	扶助費 2, 166千円 消耗品 33千円	扶助費 3, 065千円 消耗品 35千円	
	人件費 (B)			千円	3, 462. 4	3, 416	3, 902. 8	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円		5, 543. 4	6, 510	6, 101. 8	
							6, 516	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	対象者数は少ないが，その被保険者については市民健診と同等以上の健康の保持増進に結びついているため。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	対象者が毎年異なることから，目的を達成することは難しい。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	費用の助成を図ることで，各個人の健康保持増進に結びつける事業であるため。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	問題となる助成額や，他の市民との費用の差については，平成２１年度の改正により解決されると予測されるため。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	事業費のほとんどが扶助費であり，有効性や効率性を上げることは難しい。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	１		実施主体 （所管部署）		
		☐ 臨時的任用職員等の活用						
		☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
		☐ 受益者負担の見直し						
		☐ 類似事業との統合・役割見直し						
		☐ 上記以外の方法						
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある						
		☐ ない						

コード	4124	事務事業名称	短期人間ドック助成事業				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			国民健康保険と後期高齢者医療制度は医療制度として切り離して考えることができません。後期高齢者医療制度については平成24年度に廃止となり、新しい高齢者医療制度に移行することから、今後どのような医療制度になるか見守る必要があります。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			後期高齢者医療制度の被保険者は増加傾向にあることから事務量・コストともに増加傾向にあります。事業費のほとんどが扶助費であることから成果は不変といたしました。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
長期的に事業を展開する必要がある。									

所属長コメント	高齢者の検診に限らず、特定検診・がん検診のいずれもが受診率向上を求められており、今後はがん検診を含む総合検診として市民へのアピールが必要と考えていますので、総合健診の形態をとる人間ドックの普及と拡大を受診率向上の打開策の一つとして推進してまいりたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									